



11月20日 大竹駅前の花の道広場では、10周年となるイルミネーションの点灯式が行われました。カウントダウンで色とりどりの明かりが灯されると、光のツリーの下で、大竹市民吹奏楽クラブと大竹高校吹奏楽部の演奏が始まります。NPO法人ハローの仲間が飾り付けたイルミネーション。1月6日までまちを彩ります。



11月28日 明治150年記念事業の「西国街道ウォーク」に、市内外から22人が参加。木野、小方、玖波の史跡巡りや苦の坂峠越えなど、晩秋の街道で、いにしへの出来事に思いをはせました。広島市西区の太田恭介さん、和子さん夫妻は「幕末の長州との戦いのことも知ることができました」。歴史の一端に触れた1日でした。



12月7日 国際交流団体の招きで来日した、オーストラリアのケブノック高校の生徒5人が大竹小を訪問し、授業に参加。6年生とゲームや英語でまわりの紹介をするなどして交流。高校生らが教えてくれた愉快的ダンスで、大いに盛り上がりました。本山若奈さんは「初めての踊りで難しかったけど楽しかった」とニコリ。



12月10日 総合市民会館で、「子育て支援センターどんぐりHOUSE」のクリスマス会が開催されました。子育て中のお母さんのグループ「まま〜ずプラス♪岩国」のミニコンサートに、子どもたちは、うれしそう。最後に登場したサンタクロースに大喜びで駆け寄ります。サンタさんから一人一人にプレゼントが手渡されました。



初めて作った岡野佑海くん(左)。「縄をなうところが難しかった。80点くらいの出来かな」。

今に伝える 伝統の技

小方学園

小方小4年生46人と保護者として、お正月のしめ飾りを作りました。小方地区社協が日本の伝統を子どもたちに伝えようと約30年前から行ってきた恒例行事です。

神谷憲治さん、憲成くん親子も、力を合わせて縄をない、ダイダイなどの飾りを付けて完成させました。「農家だったので、おじいさんが作っているのを手伝ったりしていましたが、今は作り方は忘れていました。地域でこうした活動をされるのはいいと思います」と出来上がったしめ飾りを見せてくれる神谷さんでした。

12/8

(右) 神谷さん親子。「きれいにバランスよくするのが難しい」。(左) 地域の人に教わりながらワラをよじります。



(右) 出来上がったしめ飾り。玄関に飾ってね。(左) はみ出たワラをきれいに整えます。



(上) 小学生1、2年生の部で1位の西村柚輝くん(大竹小2年)。「おとしは親子で出場。2位でした。今回きつかったけど頑張った」。教育長からメダルと賞状を受け取ります。



(上) 号砲で一気に飛び出す小学生3、4年の部。(右) 一般の部でトップ。陸上部で長距離経験がある柴田くん。(左) ゴール目前。親子で楽しくラストスパート。

12/3



FB 師走を走れ！RunRunRun 晴海臨海公園

気持ちのいい小春日和の中、第16回「ランランふれあいマラソン」が開催されました。本信拓也さん親子の宣誓で幕を開けた大会は、幼児と保護者ペア、小学生、中学生、一般などの各部、総勢285人が参加。500mから2000mの距離を駆け抜けました。

就学前の子どもと保護者ペアでは、手をつないで仲良くテープを切るなどやかな光景が見られる一方、小学生の部では、ゴール前のデッドヒートが繰り広げられる場面も。

一般の部で第1位となった柴田康希くん(高専2年)は、「8年ぶりに参加しました。最後は体力を出し切ろうと思って頑張りました」と話してくれました。

汗を流した後は、小方地区社協の皆さんが振る舞う「ぜんざい」で一息ついたようです。



(上) 小・中学生女子も元気よくスタートダッシュ。(下右) フライドポテトマン?も「飲酒運転ダメ」Tシャツで参戦。(下左) 温かいぜんざい「いただきまーす」。



力強く宣誓した本信翼くん(小方小2年)と隼くん(5歳)兄弟。



12/14



(右) カウントダウンの除幕で、お披露目。(左) コイちゃんを描いた子どもたち。左端が石原くん。



登下校見守って

大竹小学校

総合的な学習で、市内各地にあるストーニアートについて調べた石原勇輝くん(3年)が、大竹小には設置されていないことに気づいたことが発端となり、暴力監視追放協議会などから素材となる石が学校に贈られました。

校門前に設置された石には3年生全員の筆が入れられており、知恵の象徴フクロウと市のキャラクターコイちゃんが描かれ、子どもたちの登下校を見守ります。

※ (FB)の文字があるものは、市の公式フェイスブックにも掲載しています。